

『理科・環境教育助成』成果報告書

目 的

理科が好きになる子どもの育成

- ・ 物作りを通して科学的なものの見方を育てる
- ・ 自然の事象に進んで関わろうとする態度を育てる

活動状況

平成16年10月 研究助成の決定

平成16年11月～平成17年3月

- ・ 小学校理科B領域の教材研究
- ・ 理科が好きになるものづくりの教材の検討
- ・ 教材購入計画及び購入準備
- ・ 研修視察

平成17年4月～6月

- ・ ソーラーカーの製作、実験
- ・ ペットボトルロケットの製作、実験
- ・ 日産理科教育助成における活動の広報（別添資料）

平成17年12月 報告書作成

本助成における活動の成果

本助成における活動の成果は、6月11日付けの日本経済新聞や西日本新聞にあるように、子どもたちがものをつくったり、つくったもので遊んだりする活動を通して、自然の事象に目が向き、科学的な見方・考え方ができるようになってきた。また、これらの活動を通して、「理科が好き」という子どもが増えたことは大変大きな成果だといえよう。

本助成における活動の課題

本助成において教材研究をする中で、C領域における研究もさらに深めていく必要があるという課題がだされた。そこで、本助成の一部を来年度の研究（天気の変化）のための教具購入に当て、学習の成果を気象予想士として地域にアピールするなど、本助成の成果をこれからも発信していきたい。